

豊川総合用水土地改良区男女共同参画推進懇話会を発足しました

令和5年10月16日に、第1回豊川総合用水土地改良区男女共同参画推進懇話会を開催しました。本会では、農村地域の男女共同参画推進に基づく、新たな視点で情報交換できる場を設けることにより、当土地改良区における持続可能な組織運営体制の確立に取り組み、さらには東三河地域における持続可能な農業の発展に繋がりたいと考えています。

会長あいさつ

全国で男女共同参画が叫ばれ始めて久しいですが、依然、進んでおりません。そのような中、令和2年に内閣府によって定められた「第5次男女共同参画基本計画」では、土地改良区がモニタリング対象になりました。ただ、いまだに**女性理事にどのような活躍が求められているのか、私自身もイメージが持てません。それらを模索すべく、当土地改良区としての経験の蓄積、勉強を進めて参ります。**

さらに、本会には元外資系企業勤務の会員もいらっしゃいますので、ここで多様な議論・情報発信を行うことで、この地域の男女共同参画推進にも寄与できれば幸いです。



会長 ぐぬぎ ゆきこ
功刀 由紀子



外資系企業の取り組み (元フォルクスワーゲングループジャパン株監査役 菊地啓一)

🔗 欧米の考え方

欧米では、男女共同参画のキーワードとして、*Diversity* (多様性)、*Equity* (公平性)、*Inclusion* (包括性) を意味する“**DEI**”の概念を推進することで、企業の成長を図ることが主流になっています。

🔗 同社の取り組み

フォルクスワーゲングループジャパンでは、多様性と包括性の達成を目指しています。

(下図参照)

Diversity & Inclusion Target 多様性・包括性に関する目標

	2022	2027
1. 女性社員の比率30%超えを目指す!	22%	⇒ 30%
2. 女性管理職の比率を10ポイント上げる!	8%	⇒ 18%
3. 男性従業員の育休取得率を50%に上げる!	8%	⇒ *50%

*2023年中に達成見込み

Action1:調査

2022年に指針が出され、早速、課題把握のために、匿名のアンケート調査を実施しました。

Action2:情報発信

ロールモデル(女性管理職、男性の育休取得者)にインタビューを実施し、配信しています。

Action3:トレーニング

若年層の女性従業員の能力向上ならびに、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)改善、管理職向けフォローアップといった意識教育を図っています。

Action4:育児休業

相談窓口の設置や、制度の周知を行うとともに、上司から積極的に取得を促しています。

自己紹介と職場の状況

豊川総合用水土地改良区 総括監事 功刀由紀子



出身は理系の研究者ですが、大学で副学長に就いたことでガバナンスを学び、その後も様々な活動で管理的立場を経験しました。このような経歴から、お話を頂いて土地改良区の監事を引き受けました。



豊川総合用水土地改良区 理事 杉本あき



結婚前まで、パタンナーという洋服のデザインを基に型を起こす仕事をしていて、女性中心の職場でした。ですので、土地改良区のような男性社会に新しい風を入れることができるのではないかと自信をもって理事を引き受けました。

就任してからは、わからないことだらけながらも、水に関心を持つようになり、楽しいです。

豊川総合用水土地改良区 理事 柴田芳子



結婚してから農業を始めました。当初は、ほとんど家から出ませんでしたが、15年前に農村生活アドバイザーに認定されてから、外に出て勉強する機会が増えて楽しいです。

農家の女性は、外に出るのが難しい方が未だに多いです。そういった環境の改善を考えたいです。

豊川総合用水土地改良区 理事 山内祐子



結婚を機に農業経営に参画しました。

農家の嫁が外に出るのは難しかったのですが、家族の協力のおかげで、農村生活アドバイザーや理事の仕事を引き受けることができました。

男性社会の中で、女性はなかなか意見づらいですが、理事としての役割を果たせるよう努めます。

豊川総合用水土地改良区 理事 渡辺泰弘



十数年前から露地農家をしています。以前は医療法人に勤め、看護師や管理栄養士等の女性が多い職場でした。

農家をやっていると、女性は仕事しすぎだと思っています。家事は男性でもできますので、女性が自由に外出できる仕組みを作っていけばよいと思います。

豊川総合用水土地改良区 主事補 林 華子



職員 33 名のうち、女性が 1 名の職場です。土地改良区設立以降、平成 27 年に初めて女性職員を採用したのが男女共同参画の導入です。

最初は過剰な気遣いがありましたが、慣れてくると違和感なく過ごしています。

愛知県農林基盤局農地部 農地計画課 課長補佐 小柳津貴宏



農業土木技術職員は 298 名のうち、女性は 15%で、そのうち管理職が 2 名です。20・30 代の女性が多い状況です。

女性職員が出産育児を迎える時期が重なって、休暇中の職員が多いです。専門職のスキルを持った人材補充が追いつかず、周囲の負担増が課題です。

愛知県東三河農林水産事務所 農業改良普及課 主任専門員 河野真砂子



私の職場は、職員 29 名のうち、女性が 10 名です。それぞれが区別されることなく、男女平等で活気ある環境です。

農家の様子を見ると、理解のある家庭でなければ女性が外に出ることは難しいように感じます。女性だけでなく、男性への教育が必要だと思います。

豊橋市市民協創部 市民協働推進課 課長補佐 文野耕太郎



市民協創部 市民協働推進課では、男女共同参画・女性活躍の推進、性の多様性の尊重を啓発しています。

市役所内では、男性職員の育児・介護休暇取得への理解促進、育児休業者へのフォローアップなどを行っています。

水土里ネットほの国女性部会 会長 埴原絢美



水土里ネットほの国女性部会は、土地改良区の女性職員が懇親を深めて、連携して円滑な運営に繋がることを目的として立ち上げられた会です。

以前は建築事務所に勤めていたので、建築業界、土地改良区においても男女の差を実感しています。